

平成30年 第1回臨時会 会期…1月30日

平成30年1月30日に開かれた臨時会では、補正予算のほか条例や工事請負変更契約など4議案が審議され全て可決しました。

平成29年度一般会計補正予算（第5号）

歳入		歳出（△はマイナス）	
地方交付税	2500万円	総務費	5012万円
国庫支出金	1004万2千円	商工費	0円
		土木費	△1047万9千円
		予備費	△459万9千円

※商工費は予算組替のみのため金額に変更はありません

賑わい拠点施設多目的交流棟建築工事請負変更契約の締結

問 梅津政志 議員

ブラインドボックスをロールスクリーンに変更した理由は。

答 ふるさと振興課長

ブラインドボックスを当初は北側に設置予定だったが南側をロールスクリーンに変更したことに伴いボックスが不要になったため。

問 菅原研治 議員

窓が多い建物なので地震の際などガラス飛散を防ぐには相応の設備が必要ではないか。

答 町長

安全性と快適性の両面からロールスクリーンを選択した。

問 村上満 議員

冬場の暖房にバイオマスは使わないのか。

答 ふるさと振興課長

それぞれの施設の建設時期が異なるため、現時点では考えていない。バイオマスを使用するかは設置する時に検討する。



▲多目的交流棟内部

平成29年度ふるさと体験交流館整備工事請負変更契約の締結

問 梅津政志 議員

旧湯原小学校に使用されていたアスベストは全て撤去したのか。

答 ふるさと振興課長

全て撤去した。

問 村上満 議員

撤去の際アスベストの飛散は大丈夫だったのか。

答 ふるさと振興課長

有資格者が行ったので問題ない。

平成30年 第2回臨時会 会期…2月21日

平成30年2月21日に開かれた臨時会では、公の施設の区域外設置に関する協議、財産の取得の2議案が審議され全て可決しました。

公の施設の区域外設置に関する協議

- ・町営バスのバス停を町の区域外に設置するため白石市と協議するもの。

設置場所：白石市小原字下川久保地内

問 管原研治 議員

小原大熊入口の停留所の新設について上程されるまでの経緯、設置費用の見込みは。

答 ふるさと振興課長

白石市より計画の策定と併せて新設の依頼があったため。費用負担については従来と同じ形で数万円の出費となる。

問 梅津政志 議員

バス停設置の要望が出た要因は。

答 ふるさと振興課長

通学、通院などの目的で小原地区の住民から要望が出ている。

財産の取得 (多目的交流棟備品)

取得物件：多目的交流棟備品
数量：事務用デスクほか 一式
取得目的：多目的交流棟建築に伴う什器備品の購入
契約金額：842万4000円
契約相手：宮城県白石市郡山字小森下35番地6
有限会社ライフケア・たかはし

問 吉田修 議員

入札業者数と落札率は。

答 ふるさと振興課長

6社中3社応札で落札率は80・8%

問 管原研治 議員

監視カメラやモニターなどは必要なのか。

答 ふるさと振興課長

監視カメラは付けず警備会社で対応してもらう。

問 梅津政志 議員

什器備品以外の食器類はどのくらいするのか。

答 ふるさと振興課長

消耗品も含め運営会社で用意してもらう。